

「べにたま」育成の舞台裏

県のいちご育種を担う埼玉県農業技術研究センターのおふたりに、「べにたま」の育成の経緯や品種の特徴などを伺いました！

Q 市場出荷向け品種「べにたま」を育成したきっかけは？

A 直売所・観光農園向けの「あまりん」「かおりん」を世に出したあと、生産や販売の現場から、「とちおとめ」に替わる市場出荷向けの品種を求められたことがきっかけです。

Q 「べにたま」はどうやって生まれたんですか？

A 「おいしくて、たくさん取れて、消費者の近くで気軽に買ってもらえるいちご」を目指して品種改良に取り組んできました。約8000株の中から、9年の歳月をかけて、選びに選び抜いて生まれたのが「べにたま」です。



尾田専門研究員



わたしたちの自信作「べにたま」
8000株以上から選び抜いた美味しさ。
ぜひ、ご賞味ください。



内田技師

Q 9年間の中で、どんな苦労がありましたか？

A 自分ではコレだ！と思った系統でも、現地に出すまで、現地に出してからも、越えなければいけないハードルが多く苦労もありました。いろんなハードルを越えて生み出した「べにたま」が、プレデビューを迎えたことは本当に感慨深いです！

Q 「べにたま」のPRをお願いします！

A お出かけ先の観光農園では「あまりん」「かおりん」、近所のお店では「べにたま」。

県内どこでも埼玉生まれのいちごが食べられる日は近いです。

埼玉生まれの新しいいちご「べにたま」、ぜひなが〜く愛してください！